

神石高原のNPO 試みスタート

神石高原町のNPO法人地域再生プロジェクトが、町内の道の駅で運営する自然食レストラン「高原の風」の総菜や弁当を地域の民家に宅配し、その際に農産物を買収する試みを始めた。主にお年寄りの利用を想定。買い取った野菜は主にレストランで使って地産地消につなげている。

(渡部公揮)

買い物弱者の支援狙う



利用者から買い取ったシュンギクなどを前に総菜を渡すスタッフ

備後本社編集部 0884(923)1718 FAX(931)86226
電子メール bingo@chugoku-np.co.jp
府中支局 08847(45)2202 FAX(40)00800
ニュースや話題など身近な情報をお寄せください

高原の風は道の駅さんわ1822ステーションにある。宅配は現在、同駅がある来見地域の15世帯が利用として登録。店で提供する20品目と弁当2種から電話で注文を受け、真空パックに詰めて

スタッフは10日に1回程度のペースで届ける。宅配の際の買い取りは利用者が自宅などで作った野菜や果物が対象。道の駅の産直市場の店頭価格を参考に値段を付ける。

来見地域は本年度、買い物弱者支援につながる物流システムの構築を目指す国のモデル事業の対象に選ばれた。「自宅まで来てく

た。同法人は地元自治振興会、道の駅と協議会を結成し、11月下旬に取り組みを始めた。今月22日までに宅配は42件、買い取りは12件あった。

1人暮らしの馬屋原竜子さん(76)は22日にサービスを利用して総菜を購入。菜園で育てたシュンギクやハクサイを買い取ってもらった。「自宅まで来てく

う。1人暮らしの高齢者の安否確認も兼ねている。同法人の水本毅代表理事(51)は「自治振

事件・事故

強制わいせつ容疑

福山北署は26日、福山市加茂町下加茂、職工原忠男容疑者(79)を強制わいせつ容疑で逮捕した。福山北署

興会などと連携し、対象エリアの拡大やスタッフ増員も検討する。地域を元気にしたい」としている。

恐竜リアル迫力ロボ 福山で展示開始

実物大の恐竜のロボット15体を展示する「ふくやま大恐竜博」が26日、福山市御幸町のビッグ・ローズで始まった。中国新聞備後本社などの主催。来年1月11日まで。

長9メートルのトリケラトプスなどのロボットが、巨大な口や首を動かす。会場には低いうなり声が響き、写真を撮る家族連れが目立った。

恐竜の映像が飛び出す「3Dシアター」や化石の展示もある。家族で訪れた総社市の会社員川上輝生さん(47)は「リアルで迫力があった」と喜んだ。

(榎本直樹)



お年寄り(右端)の指導を受けてしめ縄を作る参加者たち(福山市立自治会)

いい正月にしめ縄作り

福山と世羅

新年を目前にした26日、小5年横田夏美さん